

担当府省ヒアリング説明資料＜海外展開＞

総務省・・・P1

文化庁・・・P2~3

外務省・・・P4~7

平成22年11月24日

内閣官房知的財産戦略推進事務局

総務省におけるコンテンツの海外展開施策の推進について

●新成長戦略 ～「元気な日本」復活のシナリオ～

《21世紀日本の復活に向けた21の国家戦略プロジェクト》9知的財産・標準化戦略とクール・ジャパンの海外展開等

- 海外の番組枠の買取り、デジタル配信の強化、海外コンテンツ流通規制の緩和・撤廃、海賊版の防止、番組の権利処理の迅速化とともに、民間を中心としたチームによるクール・ジャパン関連産業や地域産品の売込みと海外ビジネス展開支援、人材育成の強化、海外クリエイター誘致のための在留資格要件の緩和等を行う。【P43】
- これらの施策を通じ、戦略分野における日本の国際競争力を強化するとともに、アジアにおけるコンテンツ収入1兆円を実現する。【P44】
- 「国際共同制作・国内撮影誘致に対するインセンティブ創設」【成長戦略実行計画(工程表)】
- デジタルコンテンツ配信・放送、新たなメディア創出のためのインフラ・法制度整備、標準化【成長戦略実行計画(工程表)】

●知的財産推進計画2010

・コンテンツ強化を核とした成長戦略の推進

- 1海外展開** 海外における流通経路の確保【Ⅱ2】、国際共同製作促進の支援【Ⅱ3】、国内外のイベントを活用した総合的発信【Ⅱ6】、諸外国におけるコンテンツ規制の緩和【Ⅱ8】等
- 2人材育成** 地域発コンテンツ製作支援の強化【Ⅱ10】、アニメ及び映像コンテンツの制作工程の高度化【Ⅱ14】等
- 3デジタル化・ネットワーク化への対応** 「コンテンツ特区」の創設【Ⅱ24】、新たなメディア創出のためのインフラ整備【Ⅱ25】、書籍の電子配信の促進【Ⅱ27】、放送番組の電子配信の促進【Ⅱ28】
新たな形態のコンテンツ配信の実証実験の支援【Ⅱ30】、二国間協議を通じた著作権侵害対策の強化【Ⅱ35】、プロバイダによる侵害対策措置の促進【Ⅱ37】
正規配信サービス展開の促進【Ⅱ38】等

●グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォース

・デジタルコンテンツ創富力の強化

- Jコンテンツの発信力の強化** 日本のデジタルコンテンツ(Jコンテンツ)の海外展開に向けた環境整備、デジタルコンテンツの製作者・流通力の強化、「デジタルコンテンツ創造特区(仮称)」の創設による新事業の創出
- コンテンツの活用による経済活性化** デジタルコンテンツの海外発信による経済活性化、「地域コンテンツ力創造事業(仮称)」の推進、デジタルコンテンツを活用した「つながり力」の強化
- デジタルコンテンツ流通環境の整備** インターネット上の不正流通対策、2次流通に係る権利処理の円滑化、アジアとの共同・連携推進

<ICT維新ビジョンにおける重点目標>

<コンテンツ関係施策(H23要求額)>

<施策内容>

Jコンテンツの
発信力の強化

コンテンツ海外展開促進コンソーシアム(非予算)

「グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォース」中間とりまとめ(平成22年5月)の提言に基づき、日本のデジタルコンテンツ(Jコンテンツ)の発信力強化のため、放送コンテンツ等のグローバル展開、アジア各国等との人材交流を含めた国際共同製作等を支援する民主導の「コンテンツ海外展開促進コンソーシアム(仮称)」を設立する。

国内外のイベントを活用したコンテンツの総合的発信(非予算)

国際ドラマフェスティバルやATP賞テレビドラマグランプリ等の国内外のイベントを通じた、総合的なコンテンツ発信を支援する。

コンテンツの
活用による
経済活性化

国際共同製作による地域コンテンツの海外展開(4.5億円)【要望枠】 地域コンテンツの海外展開(H22 4.0億円)(H23 4.0億円)

海外の放送枠確保及び国際共同製作を通じて、日本の優れたコンテンツを継続的に海外発信することにより、日本のプレゼンス向上、国際競争力強化、観光立国推進に貢献しつつ、地域の物産、観光資源等を海外発信する取組を支援し、地域経済の活性化、コンテンツ製作者の強化を図る。
<外務省、文化庁、農林水産省、経済産業省、観光庁と連携>
また、地域におけるコンテンツ利活用について、高度な製作・発信ノウハウの蓄積・教授等の人材育成、素材及び完成品を含むアーカイブ及び資金調達の観点から、「ヒト」・「モノ」・「カネ」を三位一体とする強化方策のあり方について調査、検討を行う。

デジタルコンテンツ力創造事業(5.0億円)【要望枠】

政府間対話の推進(非予算)

デジタルコンテンツ
流通環境の整備

コンテンツ不正流通対策(1.7億円)、放送コンテンツの権利処理一元化の促進(2.6億円)、デジタル文明開化プロジェクト(0.5億円)

(前年度予算額 1,515百万円)
平成23年度要求額 1,588百万円

メディア芸術は広く国民に親しまれ、新たな芸術の創造や我が国の芸術全体の活性化を促すとともに、海外から高く評価され、我が国への理解や関心を高めている。
また、メディア芸術は、我が国の文化振興はもとより、コンテンツ産業、観光、国際文化交流にも資するもの。

メディア芸術の一層の振興のため、「ソフト支援」と「ヒューマン支援」を充実

ソフト支援
(発信、展示、情報収集、創作活動の促進等)
1,254百万円 (1,207百万円)

文化庁メディア芸術祭【342百万円】(373百万円)

・メディア芸術の総合的祭典として、優れた作品の顕彰、入賞作品の展示等を実施。
・地方展(2地域)、国内巡回展(5地域)の実施

メディア芸術プラザ【45百万円】(45百万円)

・メディア芸術祭関連情報や入賞作品、最新情報をウェブ上で提供。

メディア芸術海外展(拡充) 【157百万円】(128百万円)

・文化庁メディア芸術祭海外展の実施。(1→2地域)
・優秀作品を海外メディア関連芸術祭に出品。

アニメーション映画製作支援 【212百万円】(新規)

・我が国の優れたアニメーション映画の製作活動に対する支援。新たに国際共同製作を推進。
※優れた芸術活動への重点的支援(アニメーション映画)(162百万円)の見直し

世界メディア芸術コンベンション 【34百万円】(34百万円)

・世界のメディア芸術祭関係者等によるコンベンションを開催。

メディア芸術部門会議【20百万円】(20百万円)

・各分野ごとのクリエイターが連携・協力を推進する会議を開催。

メディア芸術デジタルアーカイブ 【228百万円】(228百万円)

・所在情報等のデータベース整備、優れたメディア芸術作品や、散逸・劣化の危険性が高い作品などのデジタルアーカイブ化を実施。

メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業 【217百万円】(217百万円)

・メディア芸術に関する情報収集・発信や関連の文化施設、大学等の連携・協力の拠点機能を果たす情報拠点・コンソーシアムを構築。

ヒューマン支援
(人材育成)
334百万円 (308百万円)

メディア芸術クリエイター育成支援事業

【67百万円】(67百万円)

・若手クリエイター等が行う創作活動、国内各地の施設が行うワークショップ・公開講座・調査研究等に関する事業を支援。

若手アニメーター等人材育成事業【215百万円】(215百万円)

・制作スタッフに若手人材を起用し、制作段階でオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)を組み込んだ実際のアニメーション制作現場における人材育成を実施。

海外メディア芸術クリエイター等招へい事業(拡充) 【52百万円】(26百万円)

・海外の優秀な若手クリエイター等を招へいし、研修・研究の機会を提供。(招へい対象者の増)

メディア芸術祭

【事業趣旨】

文化庁メディア芸術祭は平成22年度で14回目を迎え、我が国最大のメディア芸術関連フェスティバルとして定着しつつある。当分野は文化振興のみならず、産業や観光、国際的な地位向上のためにさらに重要になることが予想される。

そのため、優れたメディア芸術作品の顕彰、及びこれを鑑賞する機会を提供するとともに、有望な若手の発掘・育成の場としても発展させることにより、我が国メディア芸術の一層の振興を図る。

【事業内容】

- 募集部門
 - ＜アート部門＞ インタラクティブアート、インスタレーション、映像、デジタルフォト、Webなど
 - ＜エンターテインメント部門＞ ゲーム、遊具、映像（VFX、CM、MVなど）、キャラクター、Webなど
 - ＜アニメーション部門＞ 劇場公開アニメーション、テレビアニメーション、OVA、短編アニメーションなど
 - ＜マンガ部門＞ ストーリーマンガ、コママンガ、自主制作マンガ、デジタルマンガなど

- 各賞 部門ごとに高い芸術性と創造性を基準に、大賞1作品、優秀賞4作品、奨励賞1作品を選考。また、23年度概算要求においては、優秀な若手クリエイター等を顕彰し、発表の機会を与えることにより、メディア芸術祭を若手の発掘・育成の場とするため、新人賞（各部門3作品）の創設を要求している。（奨励賞は廃止）

- 贈呈式・展示（平成22年度（第14回））

＜贈呈式＞

平成23年2月1日（火）

＜受賞作品展＞

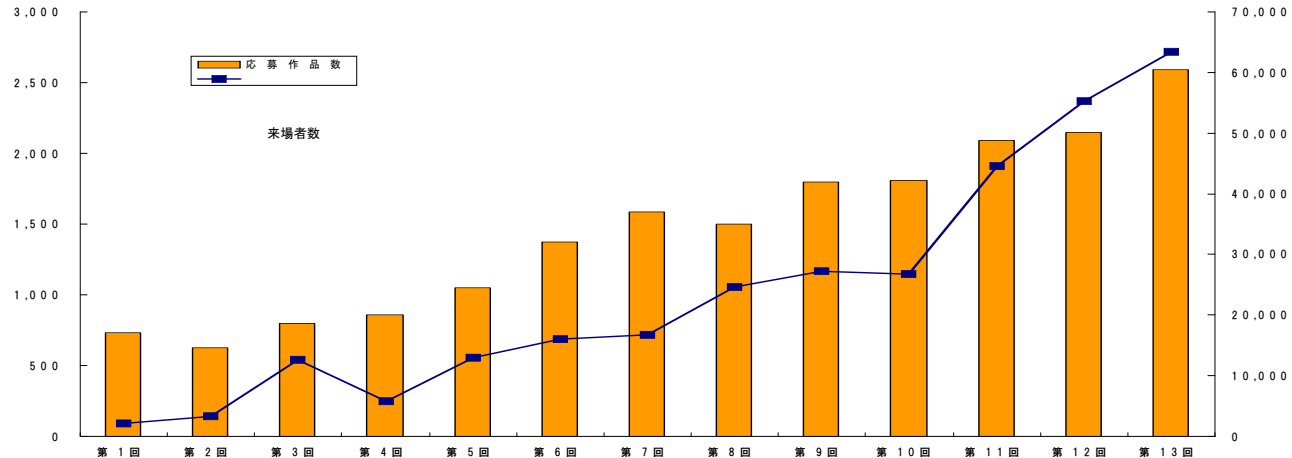
平成23年2月2日（水）～2月13日（日） 場所：国立新美術館

【予算】

平成23年度要求額 282,233千円（前年度予算額 308,402千円）

【応募作品数と来場者数の推移（第1回～13回）】

年 度	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
応募作品数	730	624	796	858	1,053	1,375	1,584	1,498	1,797	1,808	2,091	2,146	2,592
来場者数	2,173	3,264	12,597	5,718	12,958	16,060	16,766	24,658	27,246	26,706	44,524	55,234	63,348



知的財産推進計画2010進捗状況

外務省文化交流課

Ⅱ. 6. 国内外のイベントを活用した総合的発信

国際交流基金による**JAPAN EXPO2010**(於:パリ)への出展

目標: 日本のポップカルチャーに集まる若者の関心を、
より深い日本理解、日本語学習へと導く

概要: 特設ステージでの和太鼓演奏

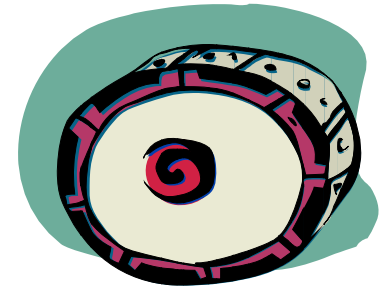
出展ブースでの基金の日本語学習用ウェブ

サイトによる日本語体験(別添プレスリリース参照)

連携: 文化庁、経産省、観光庁、当省の4省庁連携でプレスリリースを発出

在仏大の取りまとめの下、「多様な日本の紹介」

を実施(別添プレスリリース参照)



知的財産推進計画2010進捗状況

外務省文化交流課

Ⅱ. 6. 国内外のイベントを活用した総合的発信

JAPAN EXPO以外のイベントとして・・・

- **上海万博**

国際交流基金：「キャラクター大国、ニッポン展」

「都市と建築展」「邦楽公演」「日本のドキュメンタリー映画
上映会」等を実施

- **ジャナドリヤ祭**

サウジアラビアの文化祭典。日本は2011年のゲスト国として伝統文化から
先端技術まで日本の魅力を総合的に発信

外務省：和太鼓公演他の日本文化紹介事業を実施予定

国際交流基金：展示・公演事業を実施予定

A la découverte des différentes facettes du Japon

～多様な日本の紹介～

2010年7月3日・4日 11:30～14:30

於 JAPAN EXPOパリ・ノール・ヴィルバント見本市会場内「SCENE CULTURELLE」

JAPAN EXPOにおいて、和太鼓や三味線のコンサート、アニメ・マンガを通じた日本語学習体験イベント、日本の地方の魅力紹介、居合道の演武、ゲーム機Wii対戦(成績優秀者に日本旅行をプレゼント)、日本のアニソンライブ紹介等を実施することにより、ポップカルチャー、伝統文化、日本の地方等多様な日本を各機関が連携し紹介するプログラム(在仏日本国大使館、パリ日本文化会館、CLAIRパリ事務所、観光庁、CoFesta共催)。

	7月3日(土)	7月4日(日)
11:30～12:00	和太鼓の演奏 (MCJP)  ©Alberto Pitozzi	
12:00～12:30	アニメ・マンガを用いた 日本語学習体験イベント (MCJP) 	 
12:30～13:00	JET・OBによる津軽三味線の演奏 (CLAIR PARIS) ※JET:「語学指導等を行う外国青年 招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)	
13:00～13:30	JET・OBによる日本の地方の魅力(四国地方)の紹介 (CLAIR PARIS)  高松市 栗林公園 © Sophie Le Berre	JET・OB等による居合道 (斬試(ざんし。試し斬り) を実施)(CLAIR PARIS)  © Shintaro Ohta
13:30～14:00	東京国際ミュージックマーケットTIMMが実施するアニ ソンライブ	ゲーム機Wii対戦 成績優秀者に日本旅行をプレゼント(観光庁)
14:00～14:30	イベントAnime Songs Night(7月4日 於原宿)を紹介 (CoFesta)	

※ MCJP:パリ日本文化会館
CLAIR:自治体国際化協会
CoFesta:JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会

世界最大規模の日本ポップカルチャーイベント パリ「Japan Expo」に参加 アニメ・マンガを通じて日本語を学ぼう

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、フランス・パリで開催される世界最大規模の日本ポップカルチャーイベント JAPAN EXPO に参加し、多くの来場者に、楽しい日本語の世界を紹介します。

JAPAN EXPOとは

マンガ、アニメ、ゲーム、音楽、ファッション、スポーツなど日本文化を多角的に紹介する世界最大規模の日本ポップカルチャーイベント。昨年7月の第10回には、過去最高の16万5千人が来場。今回は18万人の来場が見込まれています。

日時：2010年7月1日（木）～4日（日）

場所：パリ・ノール・ヴィルパント見本市会場

公式HP：<http://www.japan-expo.com/>

国際交流基金 参加内容

■ 「特設ステージ」でのプレゼンテーション

7月3日（土）・4日（日） 11:30～12:30

＜和太鼓演奏＞

サランドル窪田真理子主宰 和太鼓真

＜日本語を学ぼう＞

新たに開発した WEB サイトで日本語を体験

「アニメ・マンガの日本語」

<http://www.anime-manga.jp/>

アニメ・マンガに現れるキャラクターやジャンルの日本語を楽しく学べる E ラーニングサイト

WEB版「エリンが挑戦! にほんごできます。」

<http://www.erin.ne.jp/jp/>

豊田エリーと倉科カナが出演しNHK教育テレビや海外10カ国で放送された映像教材のWEB版。ドラマ風スキットとCGアニメキャラクターによる解説で、日本語の「言語学習」と「文化理解」を両立させた画期的な教材をベースに、WEB版オリジナルコンテンツを多数追加。

■ ブース出展

上記日本語学習WEBサイトをパソコンで実際に体験してもらうほか、パリ日本文化会館の活動を紹介します。

「アニメ・マンガの日本語」



WEB版「エリンが挑戦! にほんごできます。」



問合せ先：国際交流基金 文化事業部企画調整チーム 高取
TEL：03-5369-6078 FAX：03-5369-6038 Email：Shuji_Takatori@jpf.go.jp